

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【公開番号】特開2009-112314(P2009-112314A)

【公開日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2009-021

【出願番号】特願2009-43222(P2009-43222)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)  
 A 6 1 K 35/76 (2006.01)  
 A 6 1 K 48/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 49/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 9/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 41/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 29/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 38/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 38/45 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A  
 A 6 1 K 35/76  
 A 6 1 K 48/00  
 A 6 1 K 49/00 Z  
 A 6 1 P 35/00  
 A 6 1 P 9/00  
 A 6 1 P 41/00  
 A 6 1 P 29/00  
 A 6 1 P 43/00 1 0 5  
 A 6 1 K 37/02  
 A 6 1 K 37/52

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月20日(2010.1.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

転移した腫瘍を有するヒト患者における腫瘍転移を阻害するための薬学的組成物であって、該薬学的組成物はレトロウイルス粒子を含み、該レトロウイルス粒子は、

i) 修飾されたレトロウイルスエンベロープタンパク質であって、該レトロウイルスエンベロープタンパク質は、アミノ酸配列 Gly - His - Val - Gly - Trp - Arg - Glu - Pro - Ser - Phe - Met - Ala - Leu - Ser - Ala - Ala (配列番号1) を含むペプチドを含むコラーゲン結合ドメインを含むように修飾されたレセプター結合領域を含む、修飾されたレトロウイルスエンベロープタンパク質と、

ii) 治療用ポリペプチドをコードする異種核酸配列と

を含む、薬学的組成物。

【請求項 2】

前記レトロウイルス粒子が、曝露されたコラーゲンの領域内で前記患者に蓄積する、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 3】

前記曝露されたコラーゲンの領域は、新生物病変、活動性血管形成の領域、転移性腫瘍浸潤病変、癌病変、血管損傷の領域または組織破壊領域を含む、請求項 2 に記載の薬学的組成物。

【請求項 4】

前記治療用ポリペプチドは細胞破壊性である、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 5】

細胞破壊ポリペプチドはサイクリンタンパク質の突然変異体である、請求項 4 に記載の薬学的組成物。

【請求項 6】

前記サイクリンタンパク質の突然変異体は突然変異体サイクリン G 1 タンパク質である、請求項 5 に記載の薬学的組成物。

【請求項 7】

前記突然変異体サイクリン G 1 タンパク質は、サイクリン G 1 タンパク質の N 末端欠失突然変異体である、請求項 6 に記載の薬学的組成物。

【請求項 8】

前記サイクリン G 1 タンパク質の N 末端欠失突然変異体は、ヒトサイクリン G 1 のアミノ酸約 41 ~ 約 249 を含む、請求項 7 に記載の薬学的組成物。

【請求項 9】

前記治療用ポリペプチドはインターロイキン - 2 ( I L 2 ) である、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 10】

前記治療用ポリペプチドは、顆粒球マクロファージ - コロニー刺激因子 ( G M - C S F ) である、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 11】

前記治療用ポリペプチドは、チミジンキナーゼである、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 12】

前記修飾されたレトロウイルスエンベロープタンパク質が、修飾された 4070A 両栄養性エンベロープタンパク質である、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 13】

前記ペプチドは、前記修飾された 4070A 両栄養性エンベロープタンパク質の g p 70 部分に含まれる、請求項 12 に記載の薬学的組成物。

【請求項 14】

前記レセプター結合領域は、前記 4070A 両栄養性エンベロープタンパク質のネイティブ g p 70 部分の 2 つの連続する番号のアミノ酸残基の間に、アミノ酸配列 G l y - H i s - V a l - G l y - T r p - A r g - G l u - P r o - S e r - P h e - M e t - A l a - L e u - S e r - A l a - A l a ( 配列番号 1 ) を含むペプチドを挿入することによって修飾される、請求項 13 に記載の薬学的組成物。

【請求項 15】

前記ペプチドは、前記 4070A 両栄養性エンベロープタンパク質のネイティブ g p 70 のアミノ酸 6 とアミノ酸 7 との間に挿入される、請求項 14 に記載の薬学的組成物。

【請求項 16】

非経口投与に適している、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 17】

非経口投与は、静脈内投与、動脈内投与、腹腔内投与、血管内投与、硬膜下投与、頭蓋内投与、骨髄内投与または胸膜腔内投与を含む、請求項 16 に記載の薬学的組成物。

**【請求項 18】**

前記レトロウイルス粒子は、ミリリットル当たり約  $1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^{10}$  個のコロニー形成単位のウィルス力価を示す、請求項 1 に記載の薬学的組成物。